

第 2 回 青梅市公共交通協議会

青梅市の現状把握

1. 青梅市における基礎的環境の整理
2. 公共交通網の現状整理

平成23年10月31日

《 図表目次 》

図 1	青梅市の地形状況	1
図 2	青梅市の市街化区域の状況	1
図 3	青梅市の年齢階層別人口と高齢化率の推移	2
図 4	青梅市の夜間人口の分布	2
図 5	青梅市の小売業の商店数・従業者数・販売額	3
図 6	青梅市の小売業販売額、小売吸引力の推移	3
図 7	青梅市の工業の事業所・従業者・出荷額等	4
図 8	青梅市の従業人口の分布	4
図 9	青梅市内の目的施設と公共交通サービスエリア	5
図 10	青梅市の道路整備状況	6
図 11	青梅市内の道路の交通量、混雑度	7
図 12	青梅市内の道路の大型車混入率	7
図 13	青梅市内の駅間所要時間・ピーク時運行本数	8
図 14	青梅市内全駅の乗車人員推移	8
図 15	青梅市内の駅別乗車人員推移	9
図 16	小作駅、河辺駅、東青梅駅、青梅駅の鉄道端末交通分担率	9
図 17	青梅市内を運行するバス系統	11
図 18	青梅市の公共交通空白地域の状況	11
図 19	青梅市内を運行するバスの運行本数(平日)	12
図 20	青梅市内を運行するバスの運行本数(休日)	12
図 21	東京都の乗合バスの輸送人員	13
図 22	年度別輸送人員(※青梅市内の1路線のみ記載)	13
図 23	平成 22 年度月別輸送人員(※青梅市内の1路線のみ記載)	13
図 24	路線バスに対する公共負担額の推移	14
図 25	多摩地域における自治体別公共負担額	14
図 26	公共負担対象系統	15
表 1	青梅市の道路整備の位置付け	6
表 2	青梅市内を運行するバス系統	10

1. 青梅市における基礎的環境の整理

(1) 地理的条件

○ 地形・地物

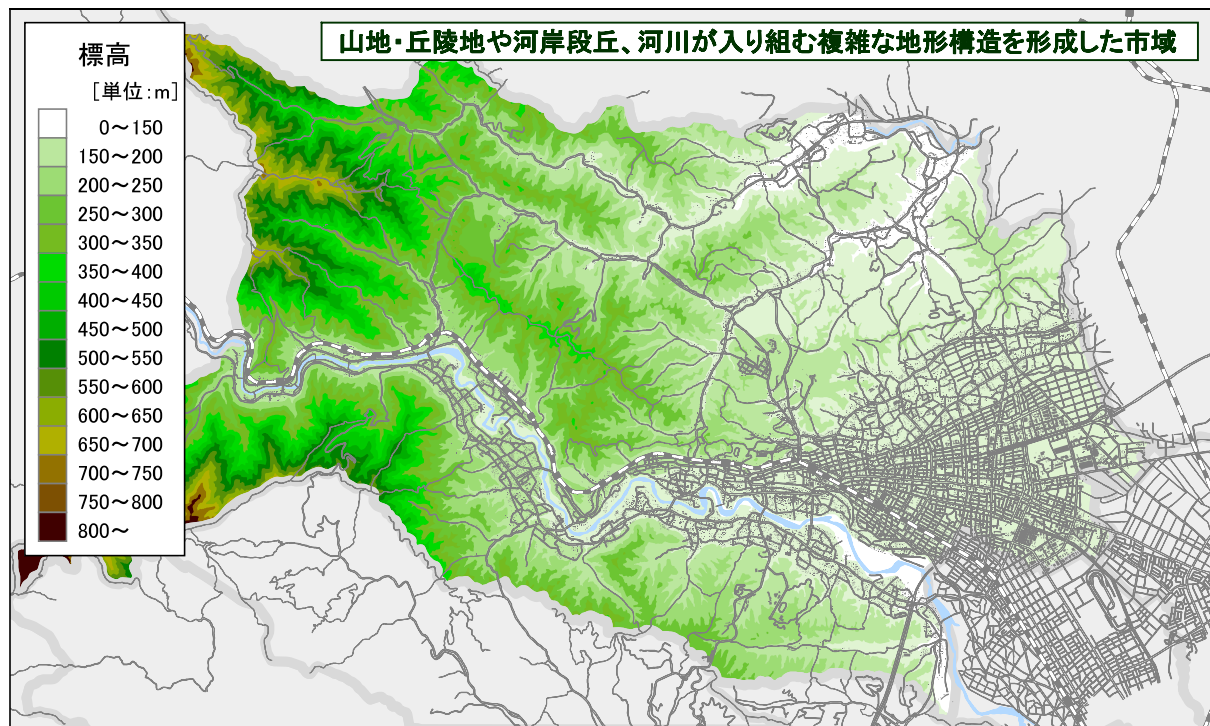


図 1 青梅市の地形状況

※ 国土地理院「基盤地図情報」及び国土交通省国土政策局「国土数値情報」より作成

○ 市街化区域

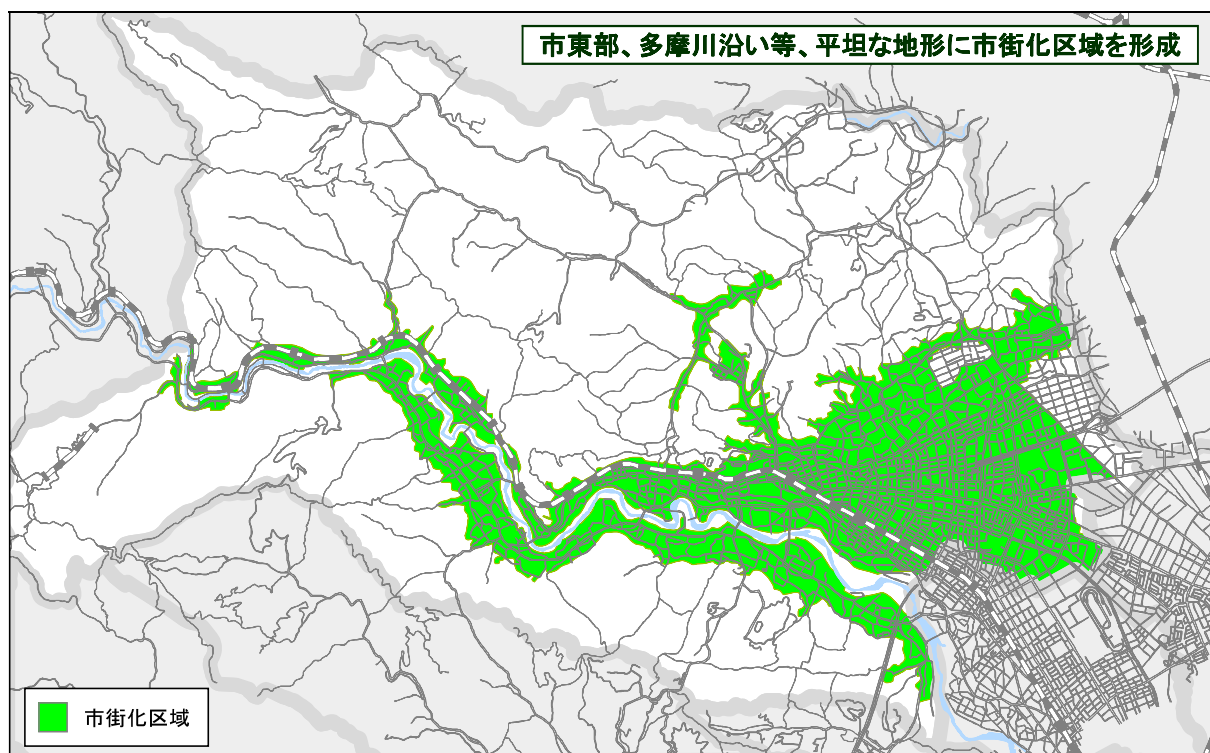


図 2 青梅市の市街化区域の状況

※ 国土地理院「基盤地図情報」及び国土交通省国土政策局「国土数値情報」より作成

(2) 社会経済情勢

① 人口動向

○ 年齢階層別人口

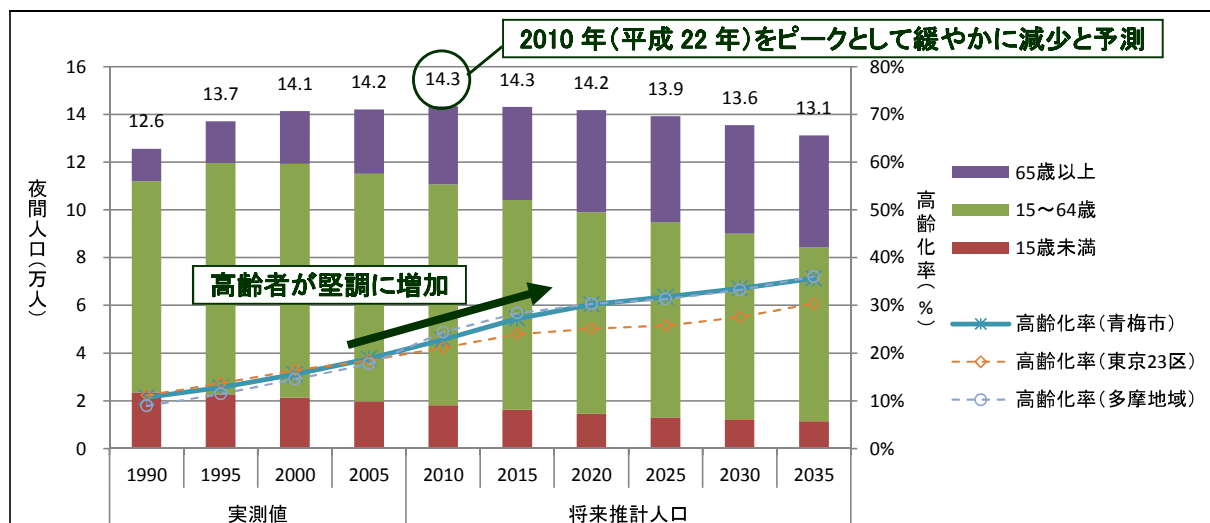


図 3 青梅市の年齢階層別人口と高齢化率の推移

出典) 1990-2005 総務省統計局「国勢調査」

2005-2035 国立社会保障・人口問題研究所「日本の市区町村別将来推計人口(平成20年12月推計)」

○ 地区別夜間人口の分布

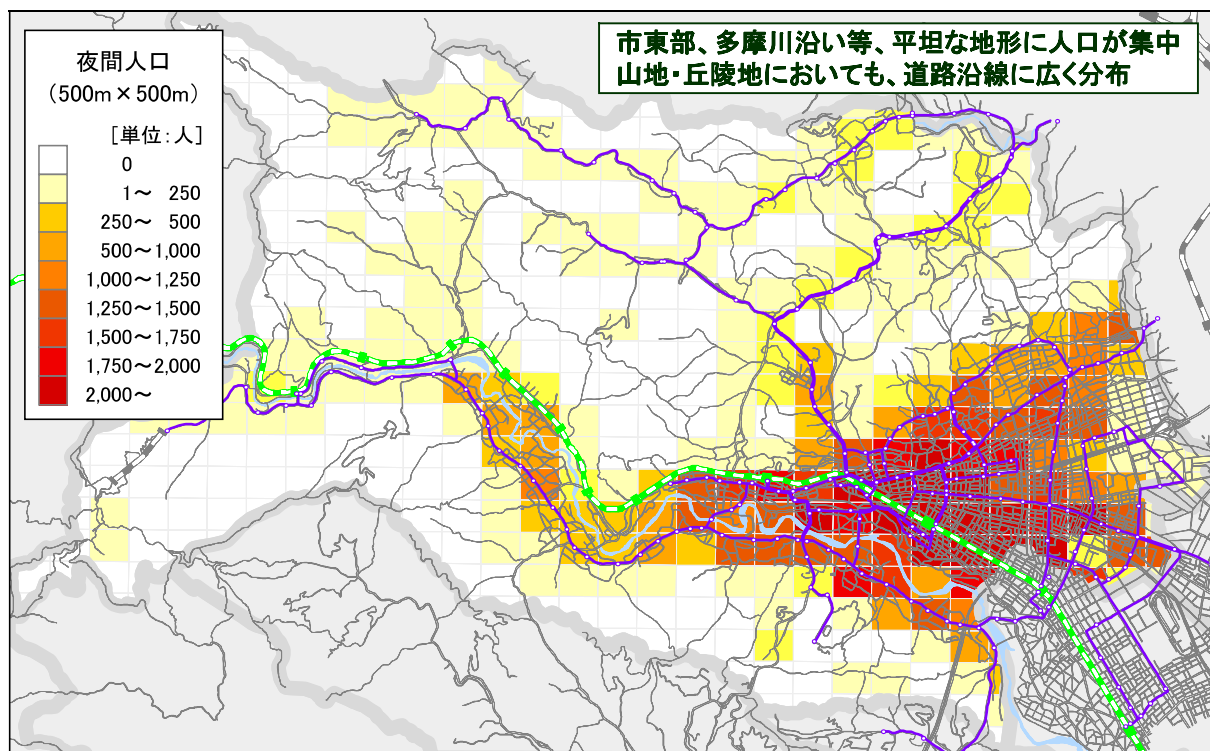


図 4 青梅市の夜間人口の分布

※ 夜間人口：総務省統計局「平成17年度国勢調査」

バス路線：各バス事業者HPより作成

② 地域経済状況

○ 小売業の商店数・従業者数・販売額

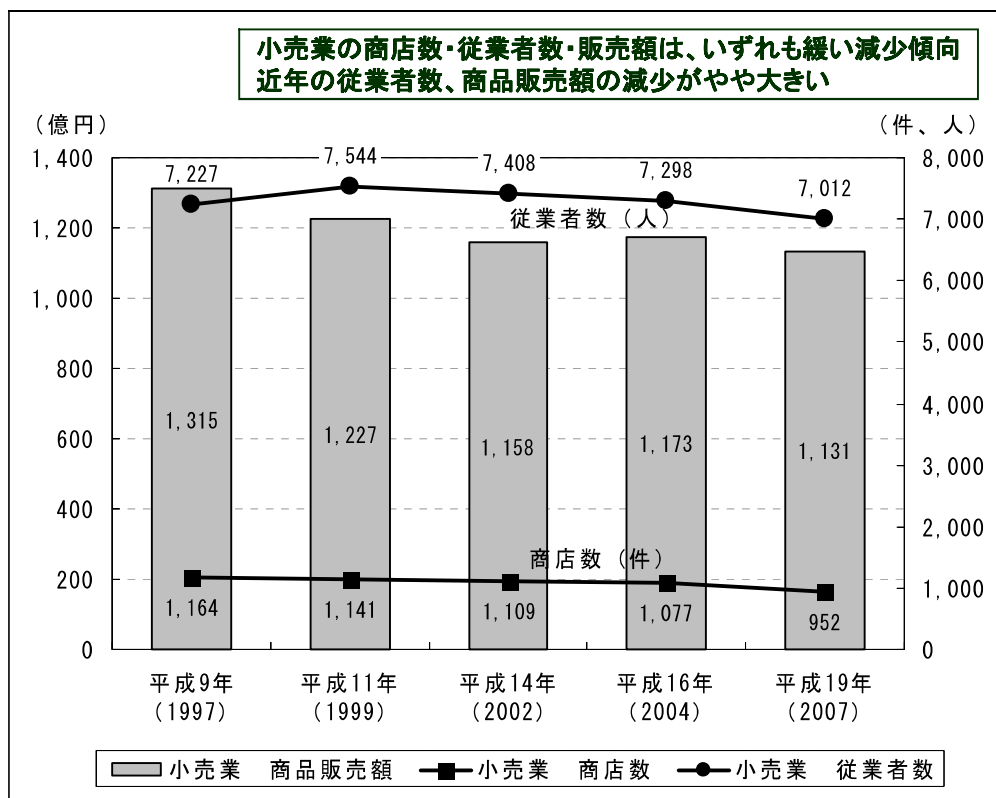


図 5 青梅市の小売業の商店数・従業者数・販売額

出典) 青梅市資料「青梅市総合長期計画策定のための基礎調査報告書 (H23. 8)」

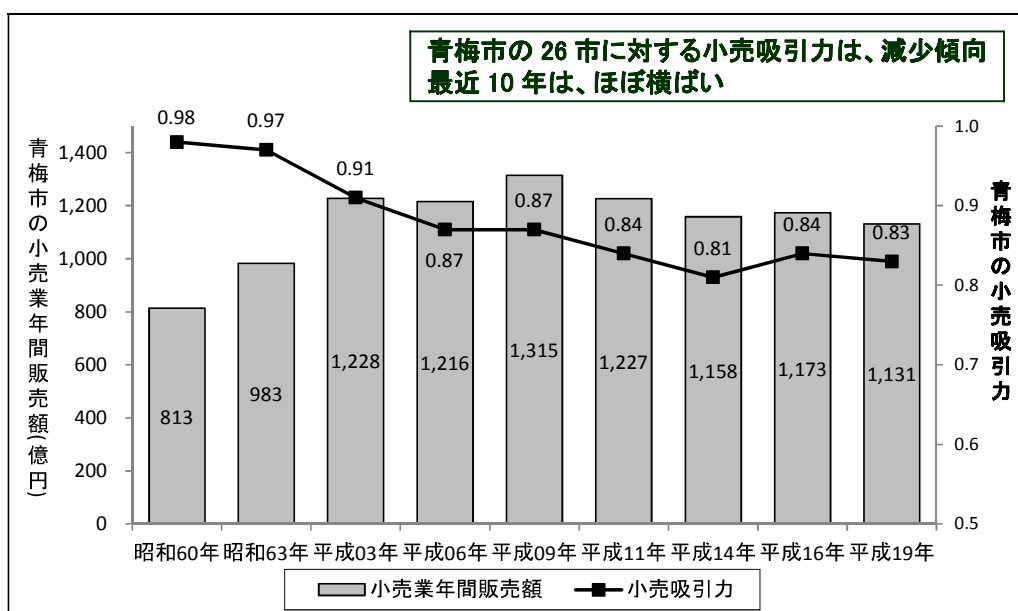


図 6 青梅市の小売業販売額、小売吸引力の推移

※1 青梅市の1人当り販売額/26市の1人当り販売額

※2 小売吸引力が1.0以上の場合、買い物客を外部から引きつけ、1.0未満の場合は、買い物客が外部へ流出しているともみることができる

出典) 東京都統計年鑑

○ 工業の事業所・従業者・出荷額等

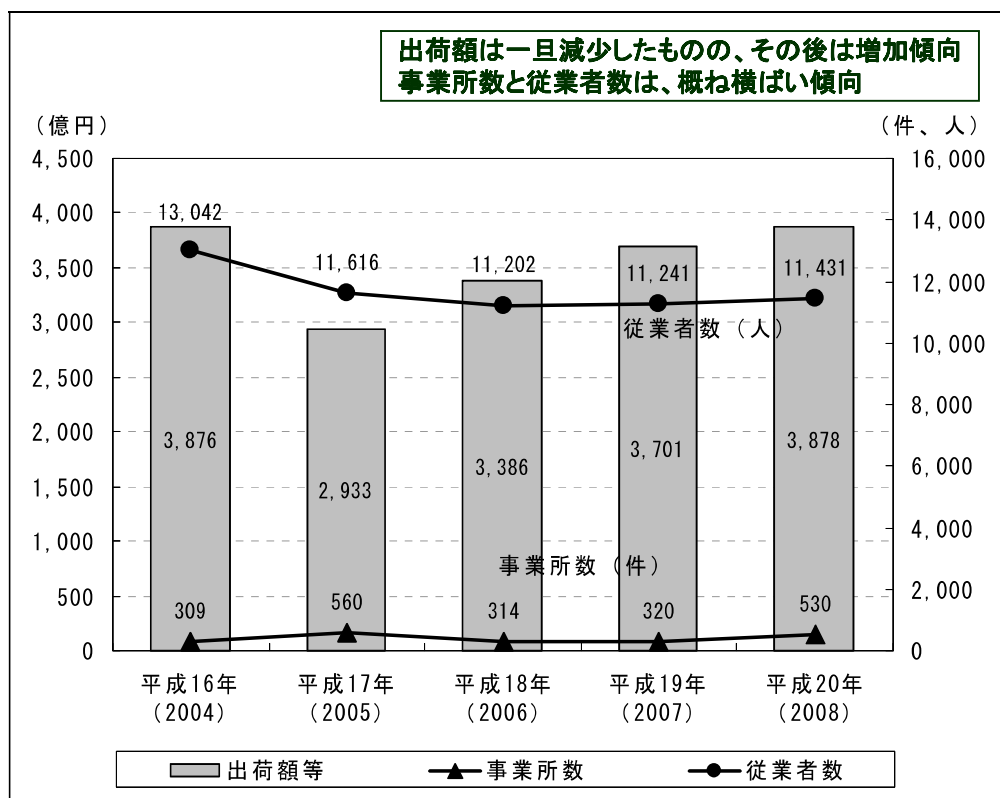


図 7 青梅市の工業の事業所・従業者・出荷額等

出典) 青梅市資料「青梅市総合長期計画策定のための基礎調査報告書 (H23. 8)」

○ 地区別従業員数の分布

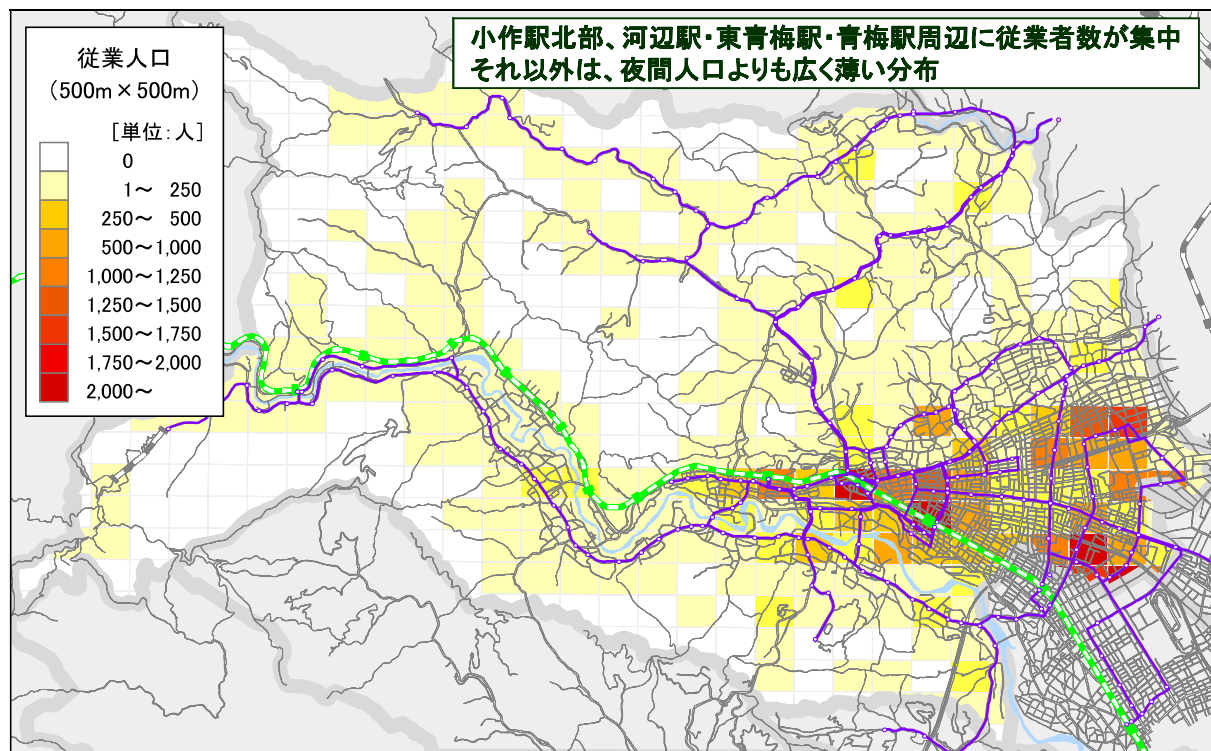


図 8 青梅市の従業員人口の分布

※ 従業員人口: 総務省統計局「平成 18 年事業所・企業統計調査結果」従業員数
バス路線: 各バス事業者 HP より作成

(3) 生活基盤の状況

○ 公共公益施設、文教施設、目的施設の立地

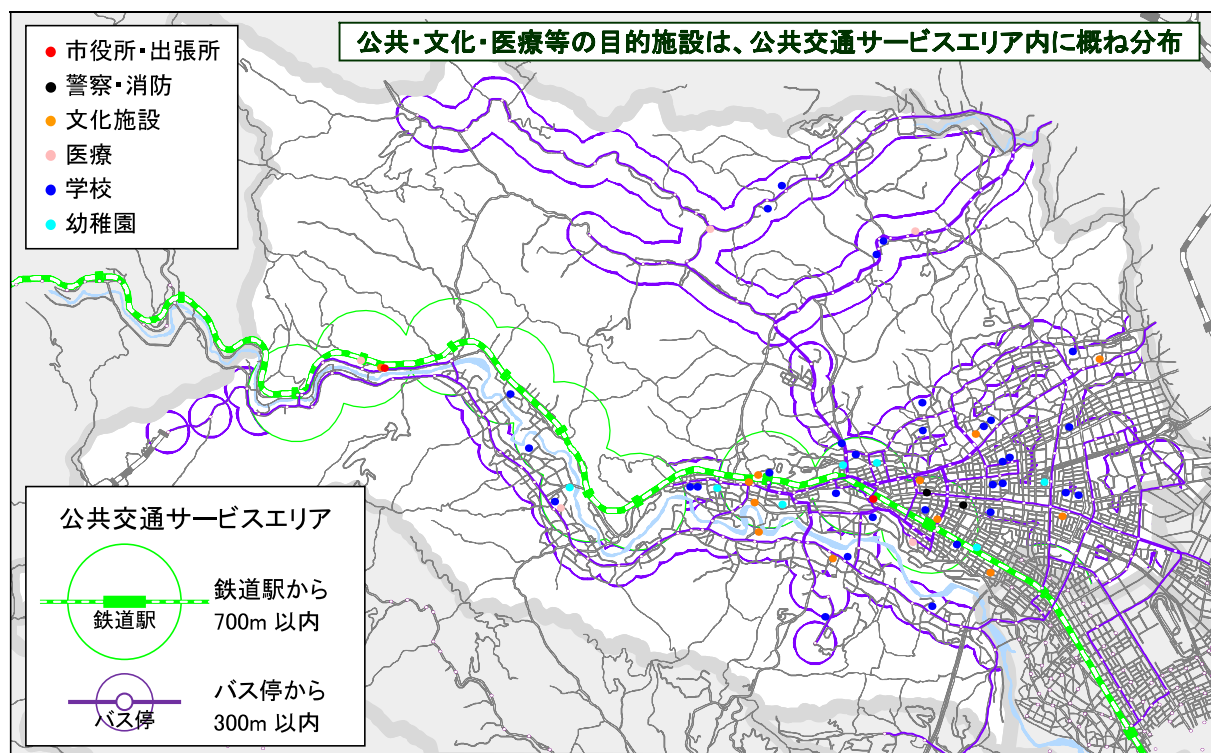


図 9 青梅市内の目的施設と公共交通サービスエリア

※ 目的施設：「青梅市わが街マップ」より作成

バス路線：各バス事業者 HP より作成

○ 都市計画道路整備状況

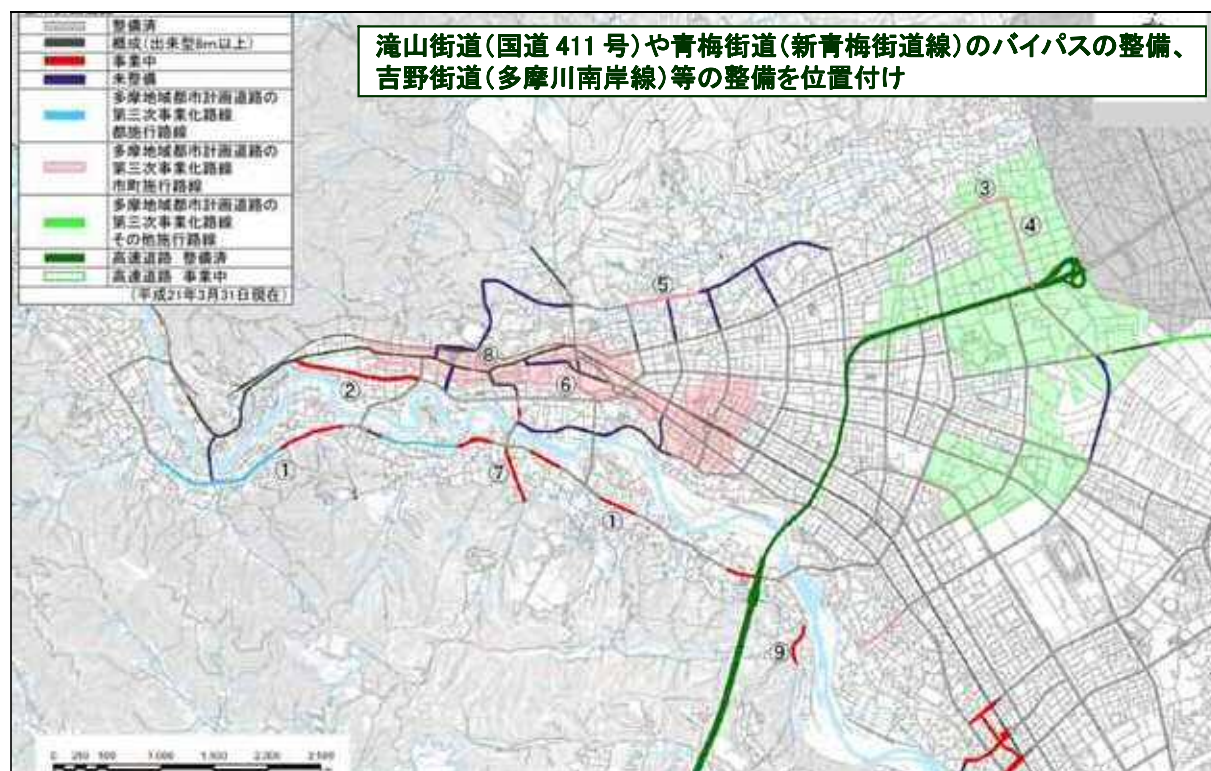


図 10 青梅市の道路整備状況

表 1 青梅市の道路整備の位置付け

番号	路 線	路線の性格・位置付け
①	青梅3・4・1 号 多摩川南岸線 (吉野街道)	青梅街道の交通緩和及び沿道サービスの機能を持つ路線。整備エリアとあきる野、奥多摩方面との連絡性を向上させる。(都施行)
②	青梅3・4・4 号 新青梅街道線	青梅市街を東西方向に貫き、多摩地域の骨格となる幹線道路。整備エリアの通過車両による交通渋滞を緩和するとともに、来訪者の回遊性を確保し、観光・商業機能の向上を図る路線である。(都施行)
③	青梅3・5・12 号 青梅中央道線	青梅市街の東西方向の交通条件を高める路線。青梅インターチェンジ周辺の機能展開地区内の交通機能を向上させる。(市施行)
④	青梅3・4・13 号 青梅東端線	青梅市街の南北方向の交通条件を高める路線。青梅街道から青梅インターチェンジへのアクセスのほか、主要幹線道路と連絡するとともに、機能展開地区内の交通機能を向上させる。(市施行)
⑤	青梅3・4・18 号 環状2号線	青梅市街の東西方向の交通条件を高める路線。整備エリアと機能展開地区を連絡する機能の一部を担う。(市施行)
⑥	青梅3・5・24 号 根ヶ布長淵線	青梅市中心部に至る南北方向の道路。青梅市街を東西方向に貫く幹線道路間の連絡性を向上させる。(市施行)
⑦	青梅3・4・25 号 調布橋線 (秋川街道)	青梅市中心部から多摩川を渡り南下する路線。整備エリアとあきる野、八王子方面との連絡を向上させる。(都施行)
⑧	青梅3・5・26 号 永山グラウンド線	青梅市中心部の南北方向の交通条件を高める路線。整備エリア内の交通機能、防災機能を向上させる。(市施行)
⑨	国道411 号 (滝山街道)	多摩西部地域を多摩川に並行して延びる幹線道路。整備エリアとあきる野、八王子方面及び奥多摩方面との連絡性を向上させる。(都施行)

出典) 東京都都市整備局「多摩の拠点整備基本計画 4 青梅 交通基盤の整備計画図 (P100)」

○ 道路交通量、混雑状況

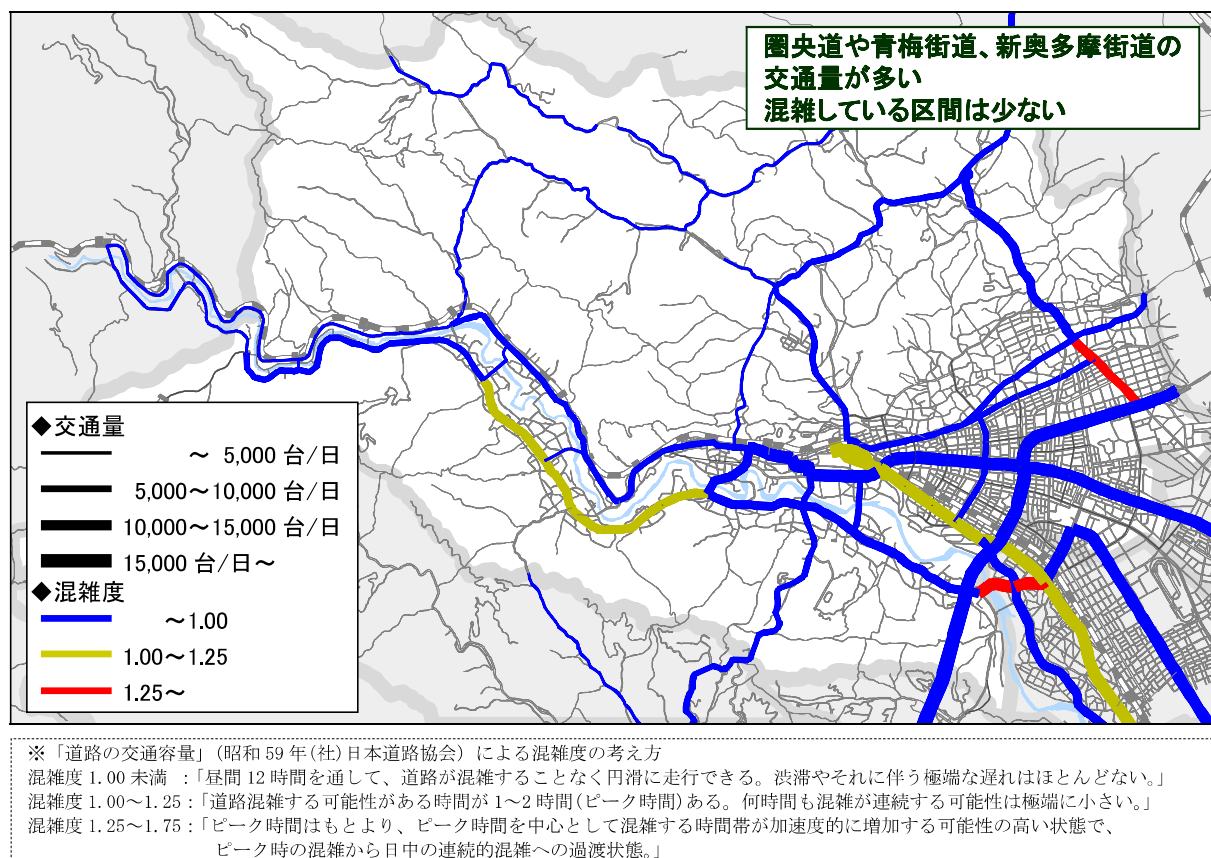


図 11 青梅市内の道路の交通量、混雑度

出典) 国土交通省「平成 22 年度全国道路・街路交通情勢調査(道路交通センサス) 箇所別基本表

○ 大型車混入率

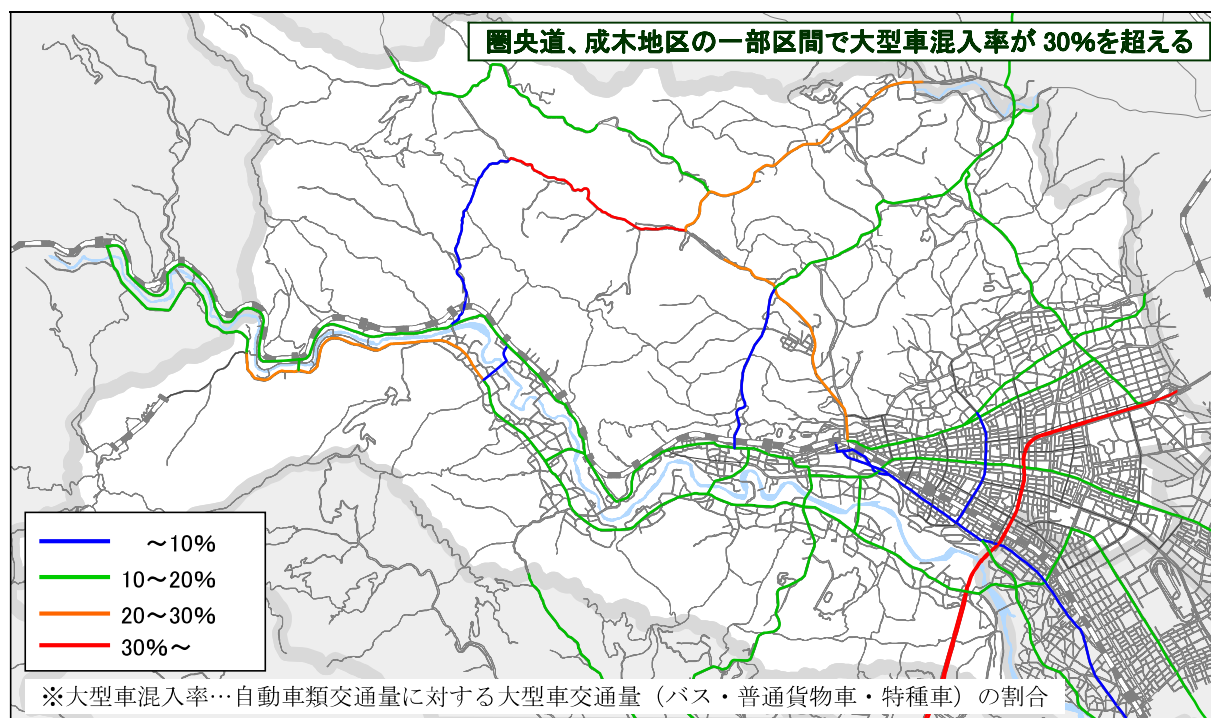


図 12 青梅市内の道路の大型車混入率

出典) 国土交通省「平成 22 年度全国道路・街路交通情勢調査(道路交通センサス) 箇所別基本表

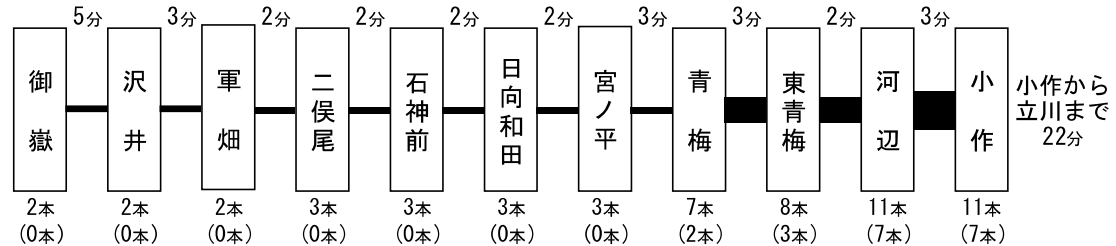
2. 公共交通網の現状整理

(1) 鉄道の状況

○ 運行本数と駅間所要時間

市内を運行する鉄軌道は、JR 青梅線と御岳登山鉄道
JR 青梅線は、東青梅駅以西が単線区間となり、青梅駅以西は運行本数が少なくなる

【平日】



【土休日】

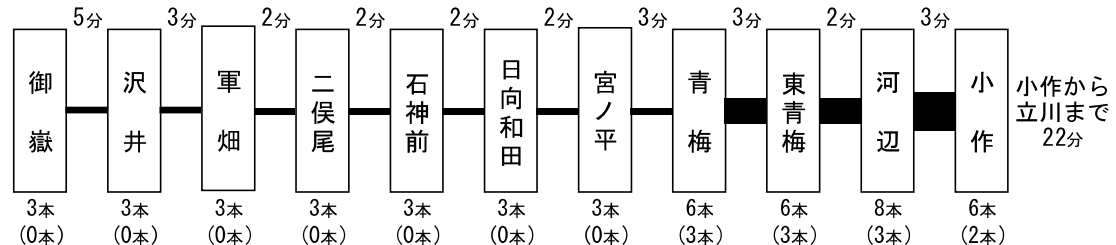


図 13 青梅市内の駅間所要時間・ピーク時運行本数

※ 運行本数：JR 東日本 HP の駅の時刻表より作成（平日ピークは7時台、土休日ピークは9時台）
（ ）内の数値は東京駅まで直通の本数

所要時間は「Yahoo!検索」より作成

○ JR 青梅線の乗車人員

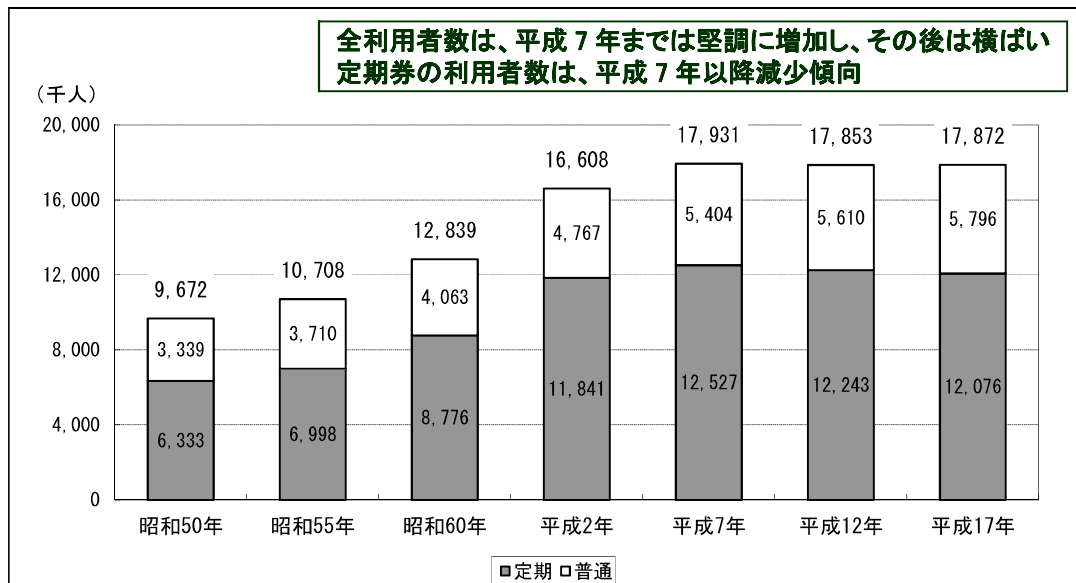


図 14 青梅市内全駅の乗車人員推移

※1 対象駅：小作駅～御嶽駅

※2 昭和50年、昭和55年、昭和60年は、宮ノ平駅、日向和田駅、石神前駅、軍畑駅、沢井駅なし
出典）各年東京都統計年鑑

○ JR 青梅線の駅別乗車人員

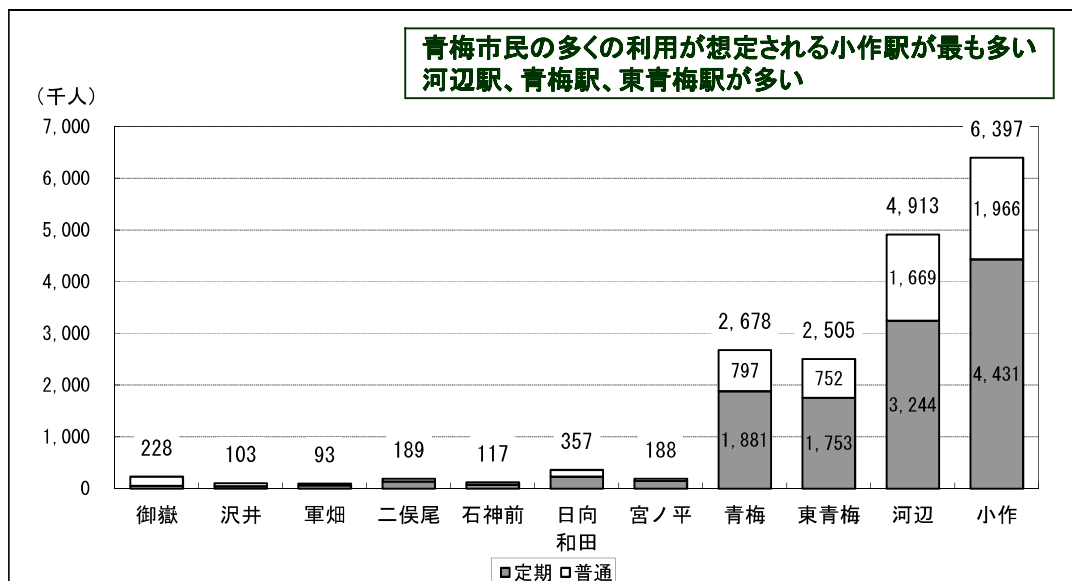


図 15 青梅市内の駅別乗車人員推移

※1 対象駅：小作駅～御嶽駅

出典) 東京都統計年鑑 (平成 21 年)

○ 鉄道端末交通の交通手段分担率

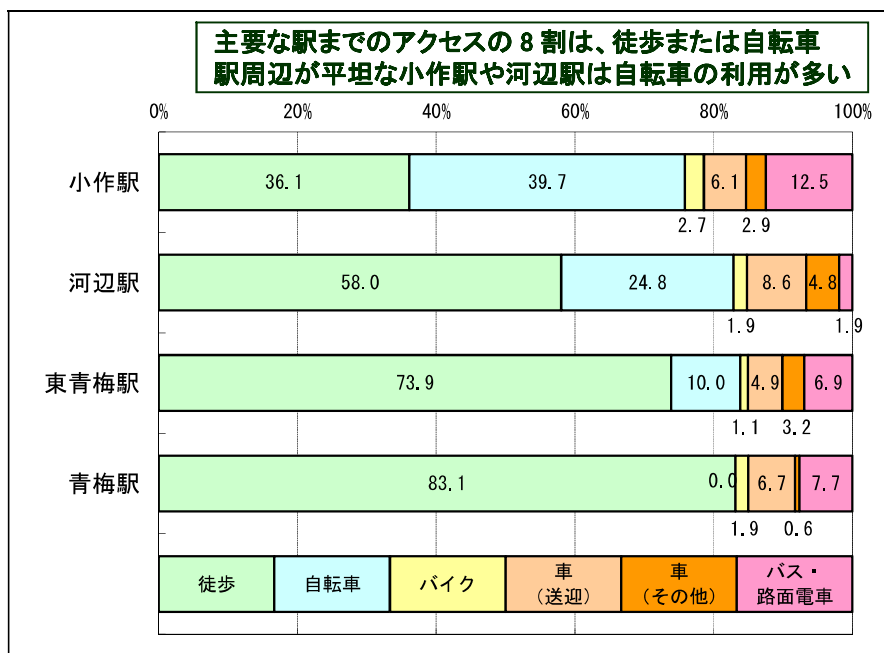


図 16 小作駅、河辺駅、東青梅駅、青梅駅の鉄道端末交通分担率

出典) 平成 17 年大都市交通センサス「端末交通手段別人員表 (初乗り駅別・居住地基本ゾーン別) 鉄道定期券 [定期券合計] 単位: 人/日・片道」

(2) バスの状況

○ 運行系統

表 2 青梅市内を運行するバス系統

事業者	系統番号	運行区間	
		起(終)点	終(起)点
東京都交通局	梅 01	青梅駅	(玉堂美術館循環) ※土休日のみ
	梅 70	青梅車庫	柳沢駅
	梅 74 甲	裏宿町	(成木循環:トンネル回り、小曽木回り)
	梅 74 乙	河辺駅北口	(成木循環:トンネル回り、小曽木回り)
	梅 76 甲	裏宿町	上成木、上成木(北小曽木経由)
	梅 76 乙	河辺駅北口	上成木、上成木(北小曽木経由)
	梅 76 丙	青梅駅	吉野
	梅 77 甲	河辺駅北口	裏宿町
	梅 77 甲折返	河辺駅北口	(塩船循環:内回り、外回り)
	梅 77 乙	青梅駅	(駒木町循環)
	梅 77 丙	青梅駅	東青梅駅
	梅 77 丁	青梅駅	河辺駅南口
西東京バス	青 20	青梅駅	小作駅西口
	河 11	河辺駅北口	小作駅東口、小作駅東口(看護経由)、西東京団地
	河 10	河辺駅北口	青梅看護専門学校
	小 05	河辺駅南口	小作駅西口
	河 13	河辺駅南口	明星大学、明星大学構内
	急行	河辺駅南口	イオンモール/サマーランド ※土休日のみ
	小 03	小作駅東口	(三ツ原循環:西回り)
	小 02	小作駅東口	(三ツ原循環:東回り、東回り深夜)
	小 06	小作駅西口	秋川駅
	小 13	小作駅西口	菅生高校
	小 14	小作駅西口	学びの城・菅生高校
	小 15	小作駅西口	菅生学園学びの城
	急行	小作駅西口	菅生高校、菅生学園学びの城
	羽 31	羽村駅東口	(新町循環:東回り)
	羽 32	羽村駅東口	(新町循環:西回り)
	羽 33	羽村駅東口	西東京団地
	羽 30	羽村駅東口	西東京団地(直通)
	御 10	御嶽駅	ケーブル下(滝本駅)
西武バス	飯 41	河辺駅南口	飯能駅南口
	飯 41-1	東青梅駅	飯能駅南口
	飯 42	岩井堂	飯能駅南口
	入市 32	東青梅駅	入間市駅
	入市 32-1	河辺駅北口	入間市駅
	入市 32-2	七日市場	入間市駅
	入市 32-3	河辺駅北口	原今井

※ 各バス事業者 HP より作成

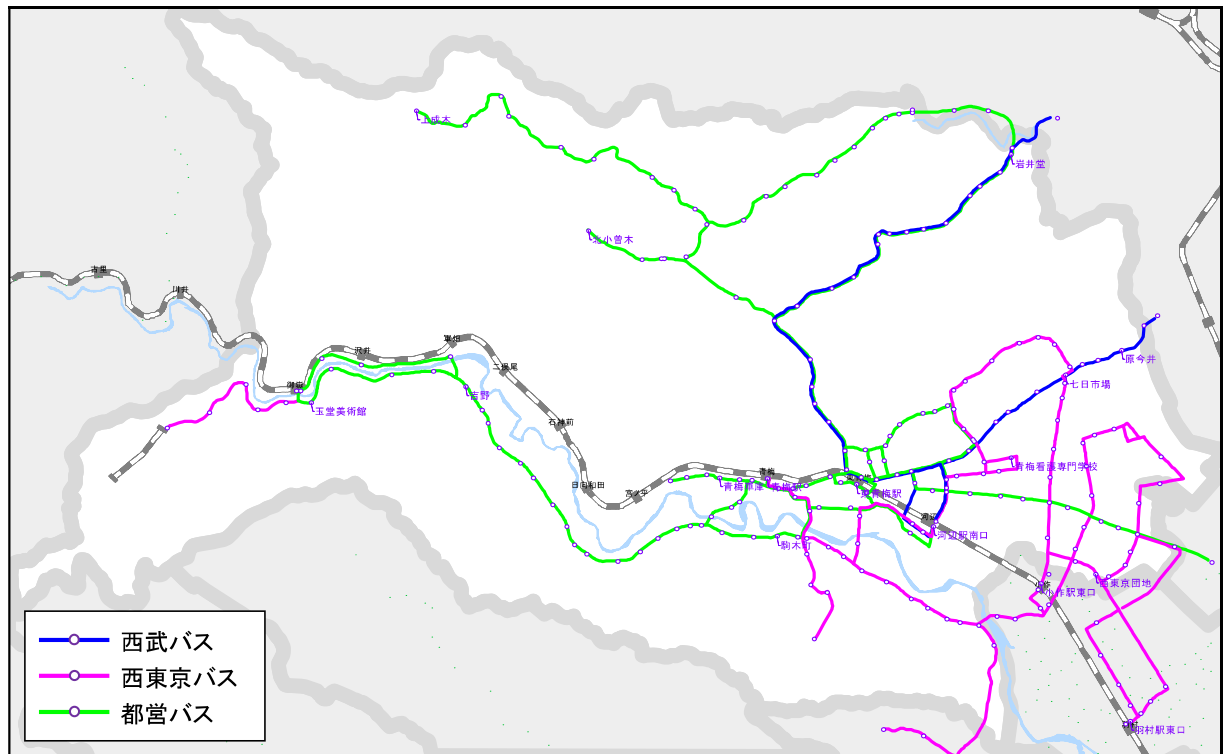


図 17 青梅市内を運行するバス系統

※ バス路線：各バス事業者 HP より作成

○ 人口分布と公共交通サービス圏の関係

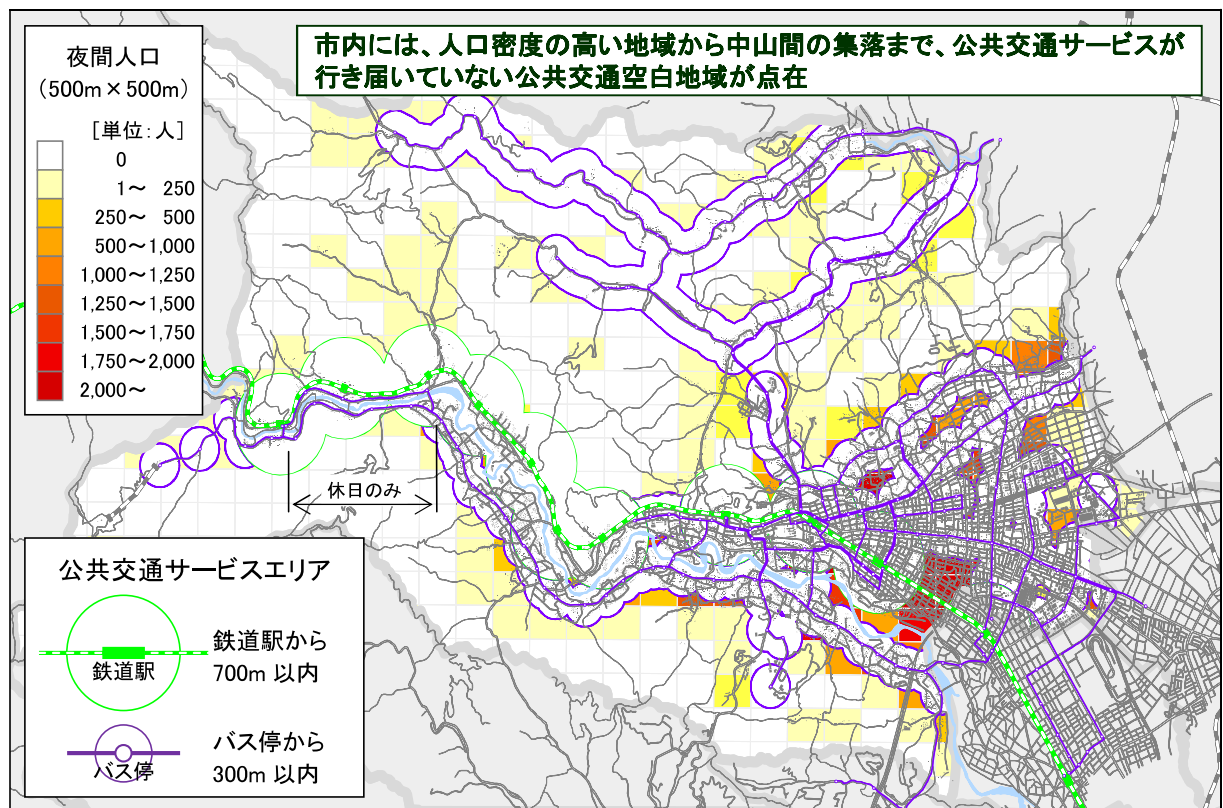


図 18 青梅市の公共交通空白地域の状況

※ 夜間人口：総務省統計局「平成 17 年度国勢調査」
バス路線：各バス事業者 HP より作成

○ 運行本数

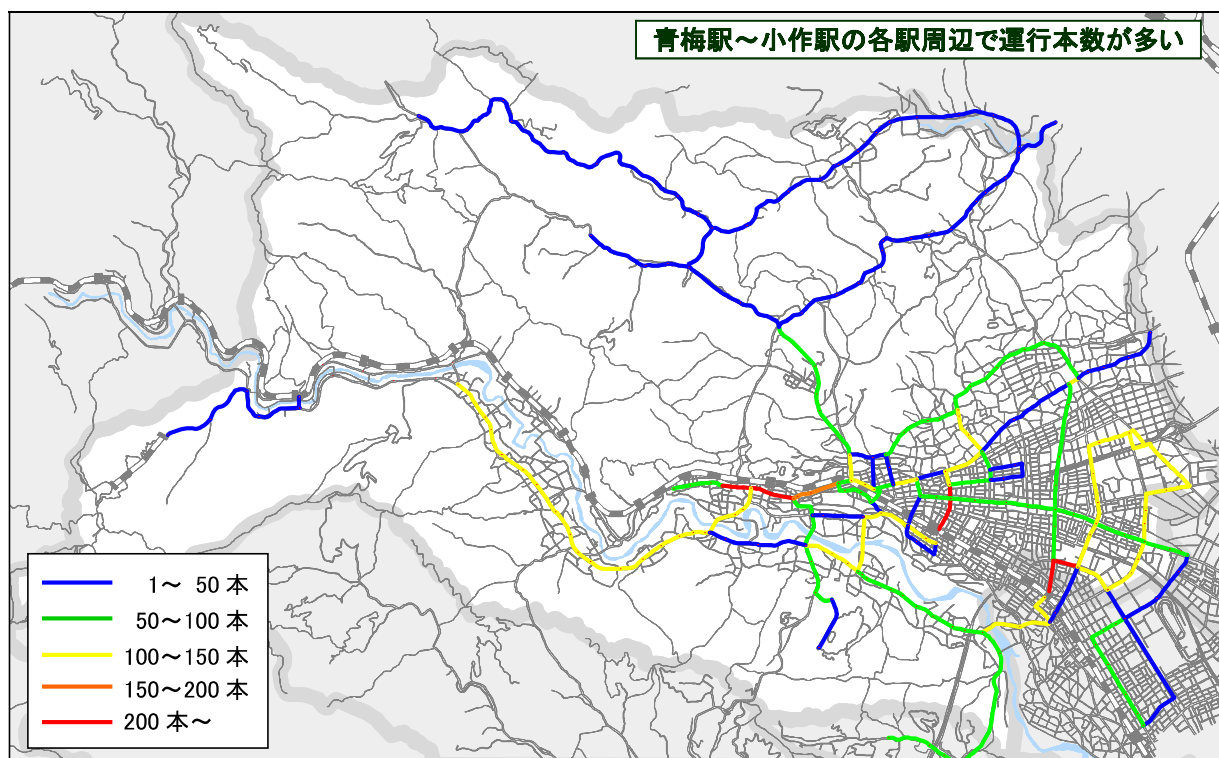


図 19 青梅市内を運行するバスの運行本数(平日)

※ バス路線、運行本数：各バス事業者 HP より作成

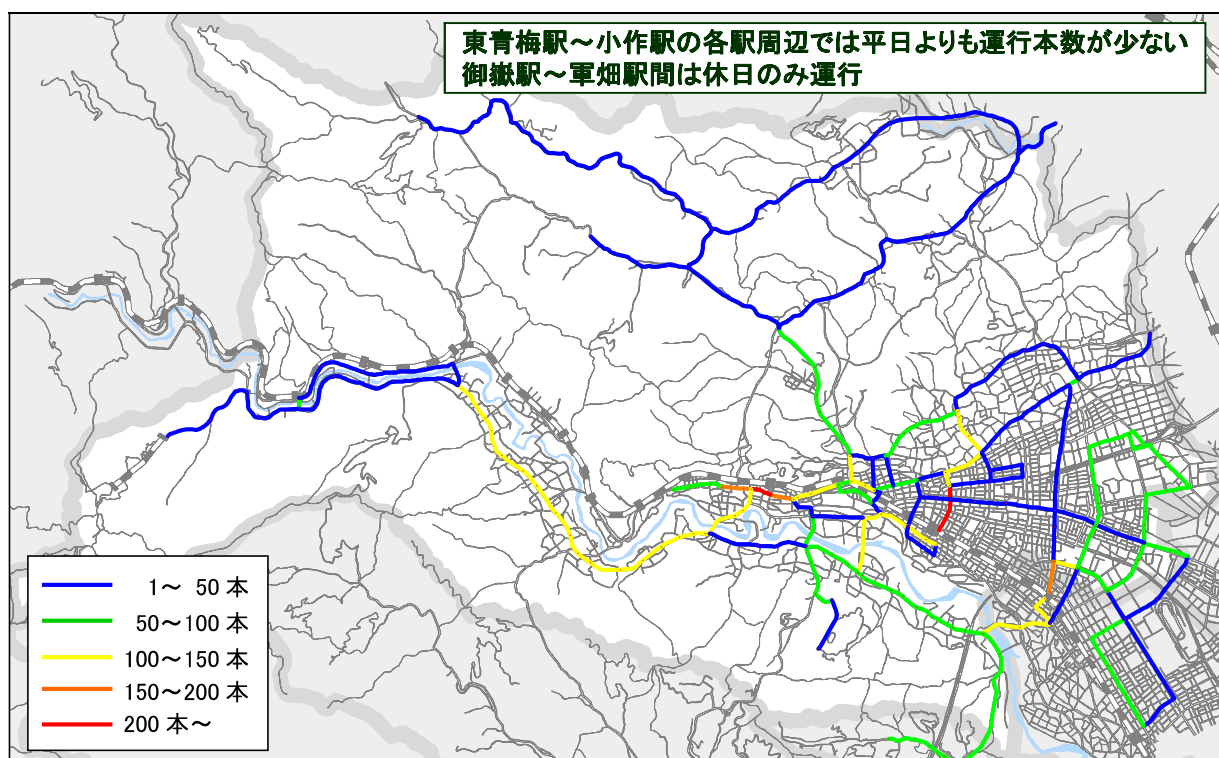


図 20 青梅市内を運行するバスの運行本数(休日)

※ バス路線、運行本数：各バス事業者 HP より作成

○ バス利用者数の推移

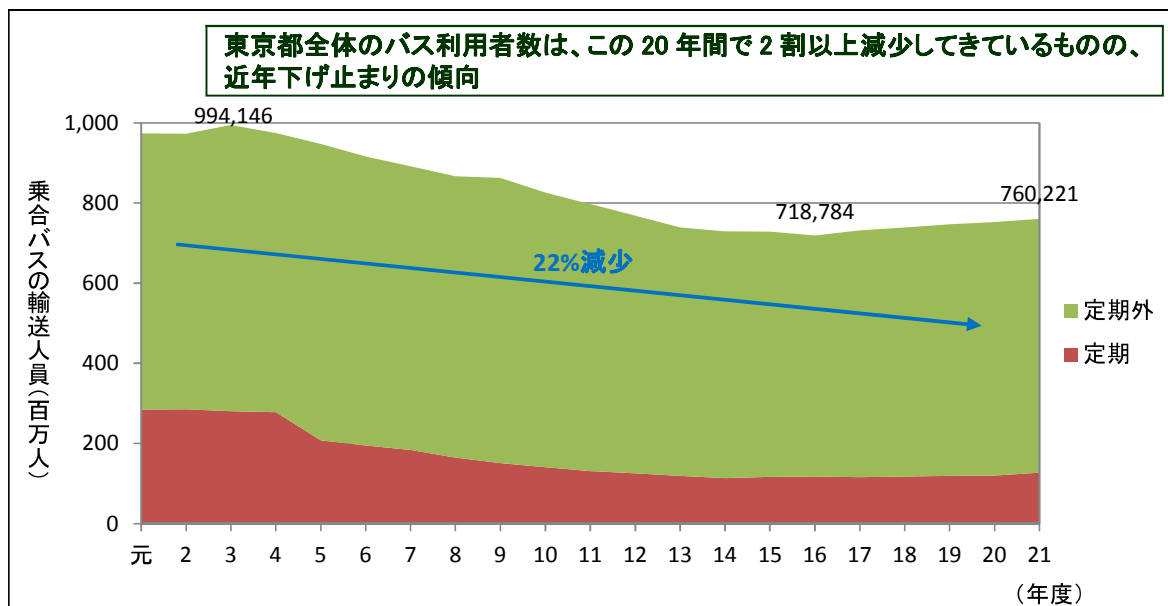


図 21 東京都の乗合バスの輸送人員

出典) 国土交通省「自動車輸送統計調査 営業用バス(乗合・貸切) 都道府県別輸送量(平成元～21年)」

青梅市内のバス利用者数(市内の1路線)は、この5年間ではほぼ横ばい傾向

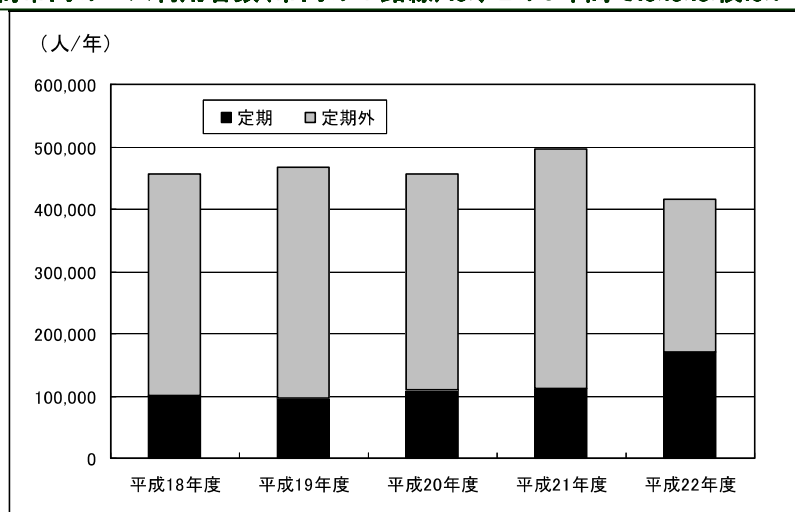


図 22 年度別輸送人員(※青梅市内の1路線のみ記載)

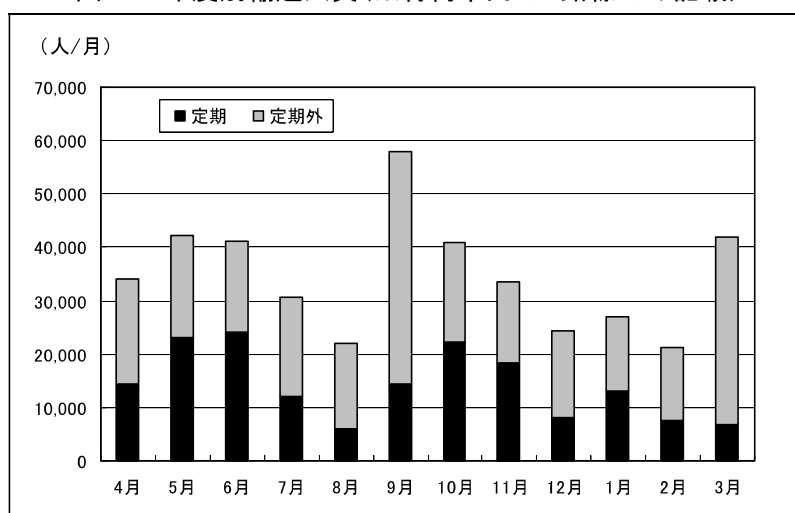


図 23 平成22年度月別輸送人員(※青梅市内の1路線のみ記載)

○ 公共負担の状況

公共負担は昭和59年から始まり、負担総額はこの30年間で当初の1.5倍の約1億5千万円/年
系統別には、梅70・74・76・77系統がそれぞれ30～40百万円/年、河10・11系統が14百万円/年

周辺市町村と比べて高いレベルにある。なお、今後の高齢化の進展に伴う社会保障費の増大や、生産年齢人口減少による税収減など厳しい財政状況が予想される。

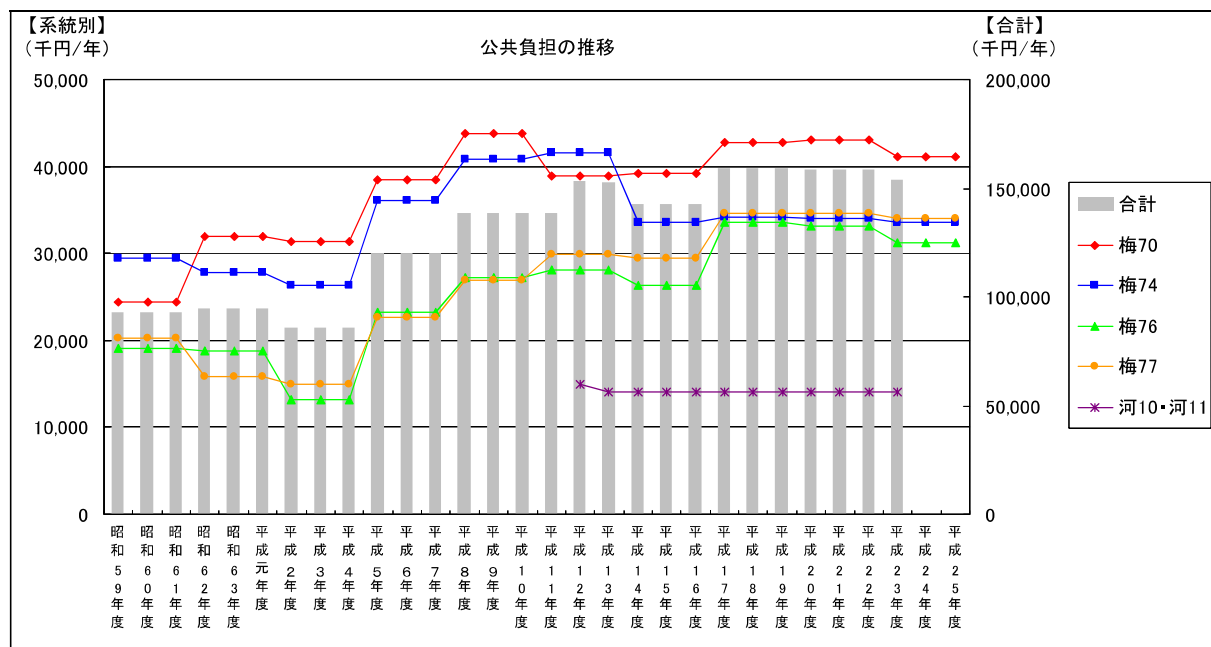


図 24 路線バスに対する公共負担額の推移

※ 青梅市資料より作成。

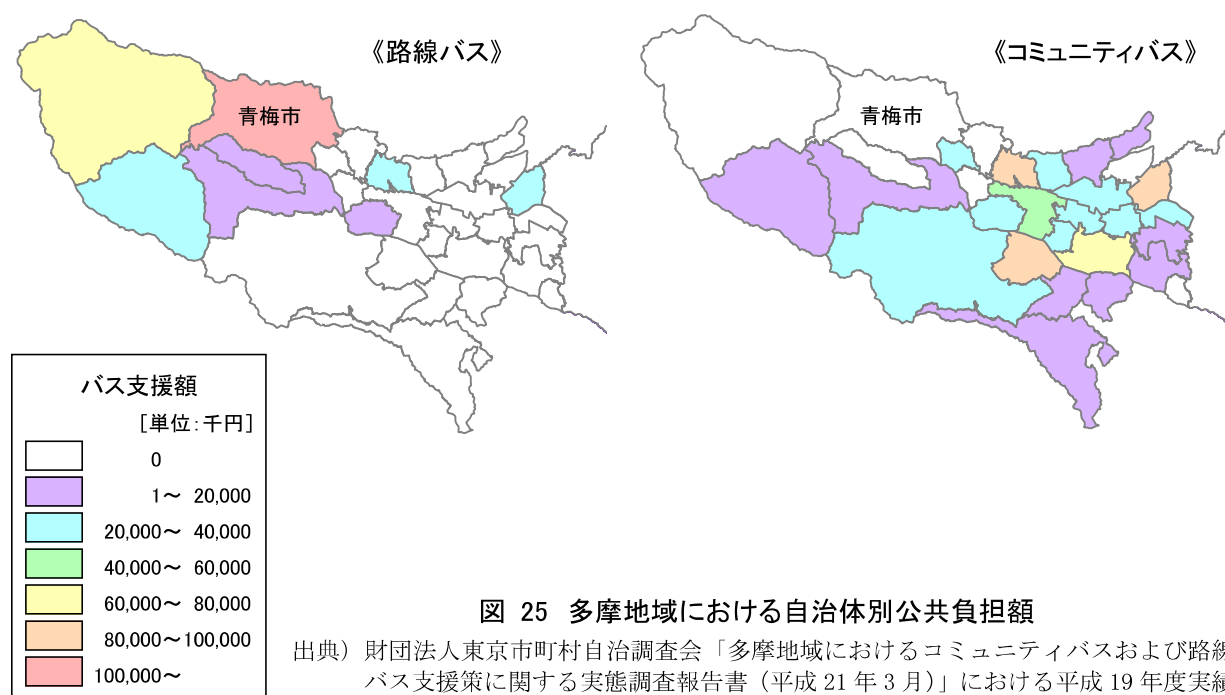


図 25 多摩地域における自治体別公共負担額
出典) 財団法人東京市町村自治調査会「多摩地域におけるコミュニティバスおよび路線バス支援策に関する実態調査報告書（平成21年3月）」における平成19年度実績

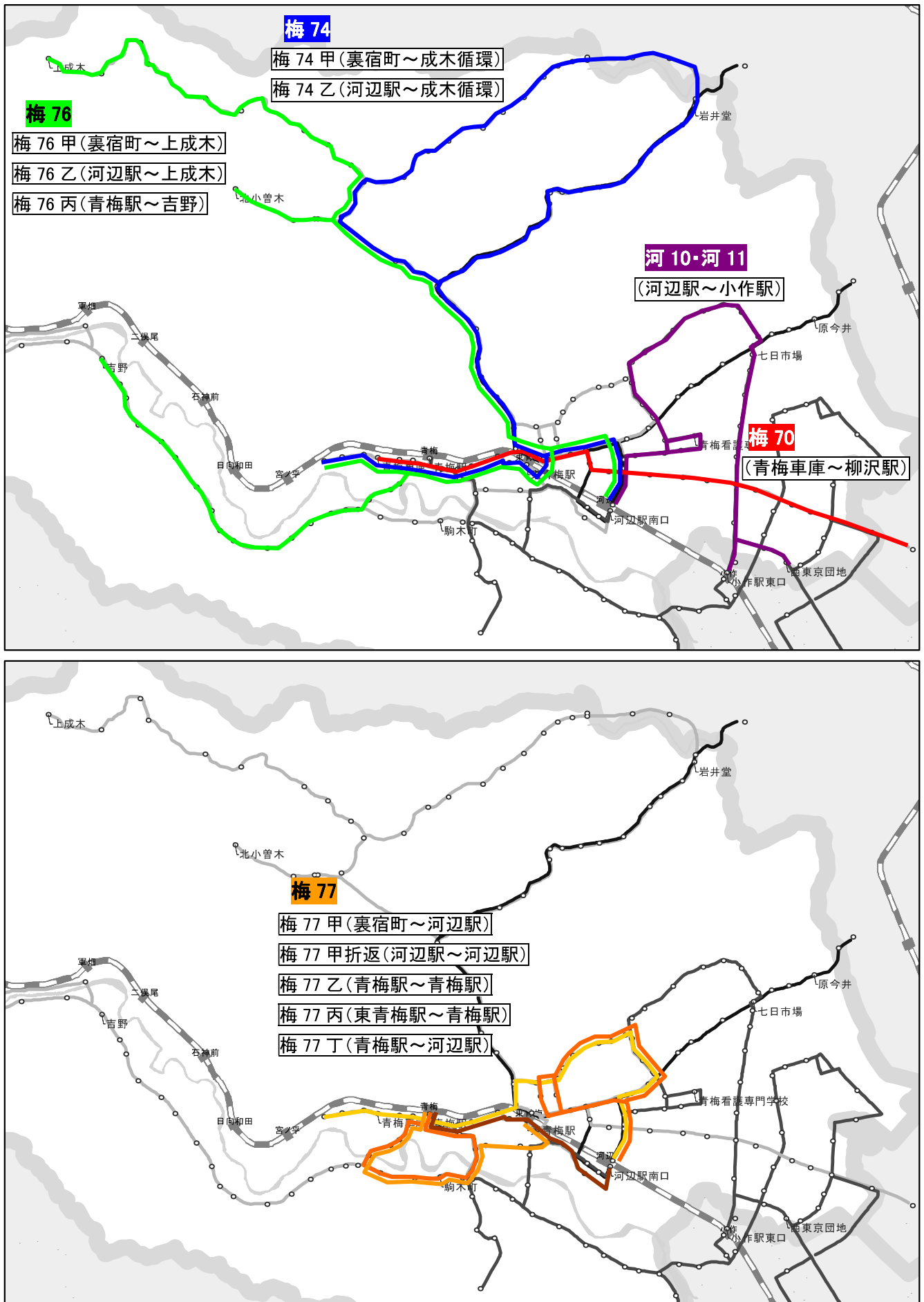


図 26 公共負担対象系統